

13. トルクラチェット

はじめに

カムログトルクラチェットは、ヘック
ススクリュードライバー・各種ドライ
バー・スレッドカッター用アダプター・
そしてスクリューインプラント埋入ツ
ール(ロング)に対応し、ステンレス製の
複数の部品で構成されています。トルク
ラチェットは手動でのタッピング、イン
プラントの骨内への最終的な位置の決
定、そして指定されたNcmによるアパ
ットメントフィクシングスクリューの締め

付けに使用します。

トルクラチェットは"IN"と"OUT"の両方
向への回転ができるように設計されてい
ます。設定されたトルク値(10・20・
30Ncm)に達するとトルクラチェット
のヘッド部が折れます。こうすること
によって不確かなトルクをかけること
を防ぐことができます。トルクラチェ
ットはクリーニングやケアのために5
つの部品に分解ができます。

インスツルメントの装着

インスツルメントをトルクラチェットの
ヘッド部に挿入するとロックされます。

- ・ねじ込む場合はトルクラチェットの
"IN"の表示を上向きにして使用しま
す。
- ・はずす場合はトルクラチェットの
"OUT"の表示を上向きにして使用し
ます。
- ・インスツルメントを取り外す場合は指
でインスツルメントの上端部を下へ押
すと外れます。プライヤーなどを使用
して無理に外さないでください。



挿入機能 "IN"



取り外し機能 "OUT"



インスツルメントを下方に押すことにより取
り外します

その他の情報

トルクラチェット

トルク値の設定

トルク値(10・20・30Ncm)はトルク調整つまみを回して規定の目盛りに合わせることで設定できます。



設定したトルク値に達するとトルクラチェットが折れ曲がります。それ以上、さらなる締め付けは行わないでください。



インプラントに装着する最終補綴物、テンポラリーアバットメントを除くアバットメント用フィクシングスクリューならびにアバットメント類はトルクラチェットを使用の上、必ず規定のトルク値で締め込んでください。

トルクラチェットによる締め付けトルク値の設定

ヒーリングスクリュー(インプラント)	ヘックススクリュードライバーにて手締め
ジンジバフォーマー	ヘックススクリュードライバーにて手締め
インプレッションポスト用スクリュー	ヘックススクリュードライバーにて手締め

アバットメント・補綴用スクリュー

テンポラリーアバットメント	ヘックススクリュードライバーにて手締め
エソミックアバットメント	20Ncm
ユニバーサルアバットメント	20Ncm
UCLAアバットメント	20Ncm
ブリッジ用アバットメントスクリュー	15Ncm

アバットメント類	φ3.3	φ3.8-6.0mm
ブリッジ用アバットメント	20Ncm	30Ncm
ボールアタッチメント	20Ncm	30Ncm

注意！：技工作業においてはトルクラチェットにての締め付けはしないでください。上記の値はチェアサイドで使用する際のものであります。

注意！

初期の締め込みを維持させるため、いったん締め込んだ後、5分後に同じトルク値にて増し締めを行ってください。

注意！

口腔内で使用する固定スクリューはしっかりした固定が得られるよう、技工作業で使用したものではなく、新しいスクリューを使用してください。

手動でのタッピングや埋入について

その際にはトルクラチェットをロックした状態で下記の通り使用してください。

1. トルク調整つまみを緩めます (反時計回り)。



2. ハンドルを後方へ引っ張ります。



3. ハンドルを引っ張りながら90°回転させます。



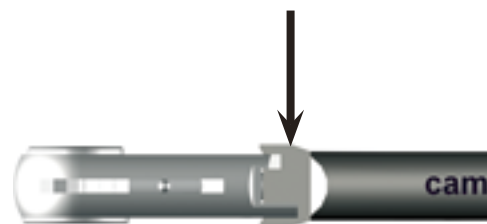
4. ハンドルを前方に戻し、ヘッド部分にロックします。



5. トルク調整つまみを締めます (時計回り)。
トルク機能がロックされました。



トルク機能のロック



その他の情報

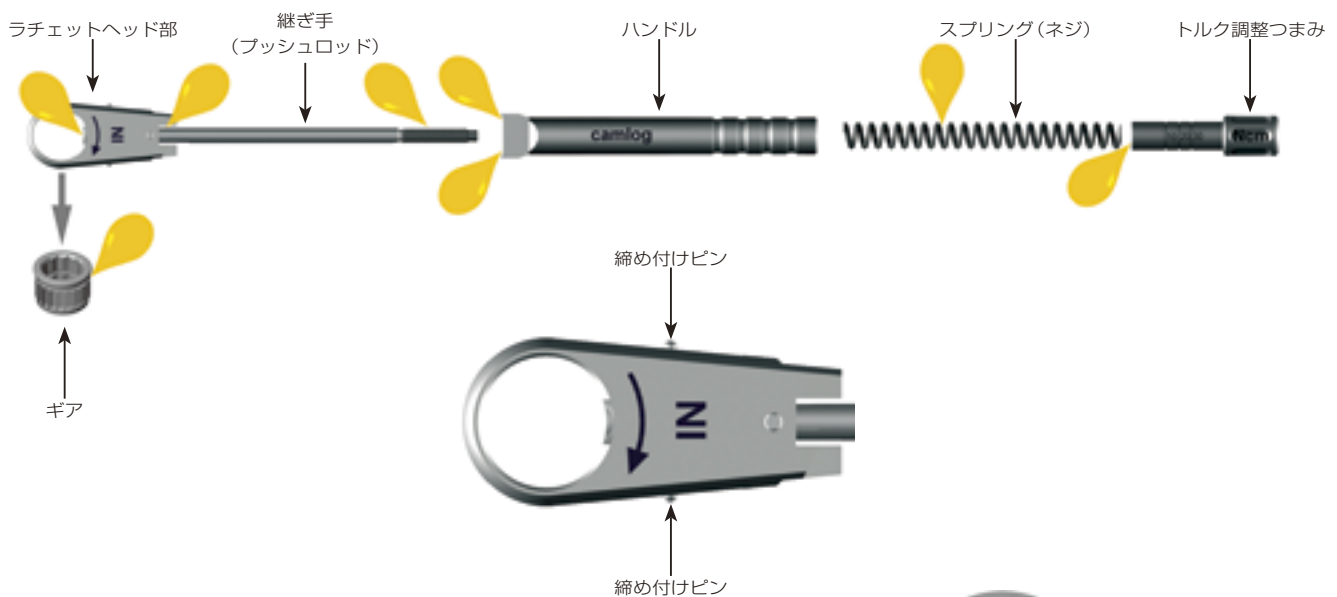
トルクラチェット

清掃・滅菌・メンテナンス

分解

トルクラチェットは使用后、5つのパーツに分解してください。

- ・まず、トルク調整つまみを完全に緩め、ハンドルとそこにあるスプリング(バネ)を取り出してください。
- ・ヘッド横についている締め付けピンを親指と人差し指で押し下げ、ヘッド部分からギアを取り外します。
- ・各部分を流水下で小さなブラシなどで水洗した後、0.1%塩化ベンゾルコニウム消毒液に浸漬します(浸漬時間はメーカーの指定に従ってください)。
- ・乾燥させます。
- ・図の注油マーク(💧)がある部分にコントラオイルまたはスプレーを塗布し、再度組み立てます。



組み立て

- ・最初にラチェットの"IN"が必ず見える面にして、締め付けピンを親指と人差し指で押し下げギアの細い側からヘッドに挿入します。
- ・ハンドルを戻し、スプリング(バネ)をハンドルの中に入れ、そしてトルク設定つまみを時計まわりに締めます。
- ・臨床では使用前にオートクレーブ滅菌を行ってください。

